

エコ・リサ学習会報告

平成 28 年 12 月 1 日に武蔵浦和コミュニティセンターで、さいたま市環境局資源循環推進部 資源循環政策課 課長補佐の三角直史(みすみなおし)氏を講師にお迎えし、「3Rをはじめよう」というテーマで学習会を開催しました。



第 1 章 3R について

はじめに 3R の意味の説明がありました。

- * **Reduce** : ごみを少なくすること⇒ごみなるものはもらわない。必要な物しか買わない。
- * **Reuse** : 繰り返して使うこと ⇒使えるものは何度でも使う。要らないものは人に譲る。
- * **Recycle** : 使い終わったものを資源にして新しいものをつくる⇒ごみを出す際に分別を徹底。

第 2 章 さいたま市のごみ処理の現状と課題について

第 1 ごみ処理基本計画の概要と実績

- 平成 24 年度を初年度とし平成 33 年度まで 10 年間の計画。
- 中間目標年度：平成 28 年度 最終目標年度は平成 33 年度
- 数値目標

入口の抑制 ①市民 1 人 1 日当たりの総排出量

⇒平成 28 年度までに 897g/人・日 平成 33 年度までに 850g/人・日
平成 27 年度実績は 913g/人・日で平成 33 年度目標まで 63g の削減が必要。

②市民 1 人 1 日当たりの家庭ごみの排出量(資源物を除く)

⇒平成 28 年度までに 522g/人・日 平成 33 年度までに 494g/人・日
平成 27 年度実績は 524g/人・日で平成 33 年度目標まで 30g の削減が必要。

出口の抑制 ③最終処分比率

⇒平成 28 年度までに 6%以下 平成 33 年度までに 4%以下
平成 27 年度実績は 3.65%で平成 33 年度目標を 0.35%上回った。

第 2 ごみの総排出量の推移(平成 22 年度～27 年度)

	平成 22 年度	平成 27 年度	増減
総排出量	423,979 t	423,695 t	0.06% 減
家庭系ごみ	318,457 t	310,952 t	2.35% 減
事業系ごみ	105,521 t	112,743 t	6.84% 増
人口	1,230,928 人	1,268,467 人	37,539 人増 (3.05%)

第3 さいたま市のごみ処理の課題と対策

課題—1 老朽施設の更新 市町村合併前に建設した処理施設の老朽化が進み、施設の維持管理コストが緩やかな上昇傾向にある。西部環境センターは平成5年2月竣工で、23年経過。東部環境センターは昭和59年7月竣工で32年経過している。

課題—2 最終処分場の延命 市内最終処分場の残余年数は約22年。⇒延命対策として、焼却灰等を市外・県外に搬出している。

対策 廃棄物処理施設整備計画

■ 老朽化が進んでいる「西部環境センター」及び「東部環境センター」を統廃合し、より効率的な処理体制を構築する。⇒現行「4施設体制」から平成33年度以降は「3施設体制」にする。

《期待できる効果》

■ 処理施設経費の削減 *施設建設費約150億円、*維持管理費約15億円/年削減見込み。

■ 最終処分経費の削減 新施設の整備にあたり、焼却残渣等の有効活用により最終処分量を抑制し、市外の最終処分場への依存を縮小させ、自区内処理の実現を目指す。

第4 さいたま市のごみ減量施策

4-1 家庭系ごみ減量施策①

■ もえるごみの中には資源物が約12%(重量比)混在し、排出されている。(H23年度調査)

■ 分別徹底を促進し、4年間で約27,000トンの減量がみこめる。約10億円分のコスト削減効果がある。

■ 啓発チラシを各種イベント、出前講座で配布し、分別意識の醸成を図る。

☆平成23年度「もえるごみ」の組成調査

項 目	割 合 %	備 考
適正排出物	86.7	
資源物1類	1.2	缶・びん・ペットボトル等
資源物2類	11.2	古紙・古布類
もえないごみ	0.4	
その他	0.5	

4-2 家庭系ごみ減量施策②

生ごみの水切り推奨

■ 「生ごみ」の約80%は水分なので、ごみ出し前の「水切り」を推奨し、ごみの減量を推進。

■ さいたま市生ごみ処理容器等購入費補助金。

■ 啓発チラシを各種イベント、出前講座等で配布し、注意喚起を図る。

■ 大都市減量化・資源化共同キャンペーンによる「生ごみ水切り器」を各種イベントで配布。

4-3 家庭系ごみ減量施策③

小型家電リサイクル事業

税理士法人 T&M ソリューション

毎月第2水曜日は「税の無料相談日」お気軽にお問い合わせください！

お問合せ ☎ 03-5829-9664 E-mail info@tms.or.jp

小型家電回収実績

年度	ボックス回収	直接搬入	宅配回収	合計
平成 25	4t	6t	0t	10t
平成 26	22t	59t	1t	82t
平成 27	25t	63t	24t	112t

4-4 家庭系ごみ減量施策④

環境教育(たのしくまなぼう! ごみスクール)

「ごみの分別」や「資源の大切さ」に親しむ機会の創出を目的として、未就学児童を対象に、清掃事務所技能職員が幼稚園・保育園で授業を行っている。

平成 27 年度より、対象を小学生に拡大し、社会科の授業に対応した「ごみスクール」を実施。

開催実績

年度	幼稚園・保育園 (回)	小学校 (回)
平成 23	1	
平成 24	6	
平成 25	50	
平成 26	68	
平成 27	104	26

4-5 家庭系ごみ減量施策⑤

さいたま市ごみ分別アプリ(さいちゃんアプリ)

急速に進んでいるスマートフォンを活用し、ごみの分別・出し方が簡単に分かる「アプリケーション」の配信を平成 27 年 8 月より開始した。主な実績は

- 若年層の分別意識の向上。
- 利用実績は 21,071 回ダウンロード(平成 27 年 8 月～平成 28 年 8 月末)。
- ごみ分別辞典：品目ごとに分別方法を確認。
- 収集曜日カレンダー：週ごと、月ごとに収集日を確認。
- アラート機能：収集日を通知音でお知らせ。
- 啓発チラシを大学の学園祭等で配布し、利用促進を図っている。

4-6 事業系ごみ減量施策

- 1 事業系ごみ適正処理啓発事業
- 2 事業系資源物リサイクル事業
- 3 剪定枝、木くず、刈草類のリサイクル
- 4 食品廃棄物のリサイクル
- 5 さいちゃんの「3R パートナーシップ宣言」事業



www.chinrai.co.jp

後記 数数のごみ減量に関する施策を行っていて大いに参考になりました。

なかでも幼稚園・保育園での環境教育は素晴らしい。ここでは児童だけでなく若い親が出てくると思われるので教育効果が大きいと思いました。

また、一般的にアパートなどの一人暮らしの若い人はごみに無関心のものが多く、どこ
の自治体も困っていると思いますが、「ごみ分別アプリ」を配信するのは今後大いに役立
つのではないかと、思いました。

報告：土淵 昭

※詳細な報告の全文は、ホームページに掲載。ぜひご覧ください。

Q & A (一部抜粋、全文は、ホームページをご覧ください。)

Q: 今後の環境センターの配置について？

A: 西部環境センターと東部環境センターとを壊して、東部環境センターの跡地に建てる。大き
さ等はまだ検討中。

Q: ①ごみ処理の金額の目標はわかるか。

② さいたま市としては3Rの中でどれをターゲットにしているのか。

③ 段ボールの回収時間は決まっているか。我々の地区では7時に来ていた、今は8時。
早すぎないか。積み残しが出る。

④ 事業系ごみの中で食品包装プラスチックをもっときれいに洗って出すように、力を入れて
ほしい。近隣の中華料理店で実践しているところがある。こうすれば燃やす方ではなくて、
資源回収に回せる。

A: ①ごみ処理経費は出しているが目標はない。焼却施設は古くなると費用がかかる。合併当時
は5炉あった。5炉が現在4炉になって、今度は3炉にする。金額に触れれば、わかりや
すくはなる。金額については市民向けの「さいちゃん通信」に載せているが。広報の仕方
を考える。また、スマートフォン、タブレット端末で若い人向けにごみの分別など広報し
ている。

② 一番はreduce, 二番は分別の徹底。

③ 段ボールの収集 時間内（8時半以降）にもう一度回っている。

④ 洗って食品包装プラスチックになれば、170円から100円にコストが下がる。

エコ・リサ25周年記念誌への原稿募集のお知らせ

エコ・リサの活動も、2018年には25周年を迎えようとしています。

その記念誌に、会員のエコ・リサにおける活動や取り組みについての寄稿を募集いたしま
す！！今から、構想を練り、ふるってご応募くださるようお願いいたします。

ご応募は、ホームページ右下の ≫ お問い合わせ ≪ よりお願いいたします。



読売旅行

読売旅行「あなたの街から」いい旅 いつも これからも

さいたま営業所 ☎048-640-4343

FAX048-644-7674

資源循環推進課コーナー

埼玉大学学生による「食品ロスの削減」に向けた政策提言について

1 趣旨

埼玉県では、若者の感性を県政に生かすとともに、大学に生きた学習の場として活用していただくことを目的として、平成 22 年度から知事と埼玉大学学生の意見交換会を実施しております。県庁各課から提示された課題の中から取り組むテーマを選択していただき、埼玉大学学生が取り組んだ調査・研究成果について、知事の前で政策提言いただくものです。これまで、いくつかの提言のアイデアが実現しております。

2 平成 28 年度のテーマ

学生のみなさんは、今年度は次の 5 つのテーマから選択し、約 4 か月間の調査・研究を経て、平成 28 年 11 月 11 日（金）に知事の前でプレゼンテーションを実施いただきました。このうち、「MOTTAINAI カードで減らそう食品ロス」については、当課から提示した課題「限られた人員と予算の中で実施する食品ロス削減を図るため効果的な普及啓発のためのアイデア」に対して提言いただいたものです。

テーマ
道路のリノベーションとモビリティ・マネジメント
MOTTAINAI カードで減らそう食品ロス
若年層の公共事業従業者増加を目指して
犯罪シナイト ―自主的な防犯活動に参加してもらうために―
埼玉学生協議祭 ―埼玉でもオリンピックやるってよ―

3 「MOTTAINAI カード」の活用で減らそう食品ロス

学生のみなさんは、外食店で発生する食べ残しなどの食品ロスを削減するためには食べ残しの持ち帰りが効果的であると考えました。そして、食べ残しはもったいないという”お店の気持ち”と、食べ残しを持ち帰りたいけれど恥ずかしくて言えない”お客さんの気持ち”をスマートに一致させるために「MOTTAINAI カード」の提示により、外食店における食品ロスが削減できるのではないかと提言するものでした。

4 今後の取組

今後、県では学生のみなさんと一緒に提言のフォローアップを実施していくことを予定しています。まず外食店に足を運び、食べ残しなど食品ロス削減に関する取組や食べ残しを持ち帰る場合の食中毒の危険性などについて外食店を経営する方々の生の声を聞かせていただくことが重要であると考えております。食品ロス削減を推進していくため、この提言をきっかけとして、学生のみなさん、外食店のみなさん、そして県民のみなさんと一緒に取組を進めてまいります。



知事と埼玉大学学生との意見交換会の様子

2016. 10. 30、北本市文化センターにおいて 3 年ぶりに北本市ごみ減量等推進市民会議主催で大会が開催され、基調講演には推進員の方々を中心に 100 名以上の参加がありました。

行政、議会の来賓あいさつでは、年々ごみ処理費用が高くなっており、6 億円を超えてきたこと。2035 年には行田・桶川・北本の一部事務組合でごみ焼却場の新設が計画があり、現在、建設費用のみで当初予算の 118 億円が 249 億円にはね上がる状況にあり内容の精査が必要になっている旨のお話がありました。

午後は、新聞紙でエコバッグを作ったり容器包装プラスチックの出し方を体験できるコーナーや、ダンボールコンポストをはじめ様々な生ごみや落ち葉をたい肥化するアイディア用品が展示され、市民大会実行委員会の努力があらわれている会場でした。

〈基調講演〉ダイジェスト

“ごみを燃やすなんてもったいない。まだまだできます！ごみの減量” 講師 大前万寿美
資源の少ない日本

2016 年度環境白書の物質フロー図を見ると 2000 年以降、資源の循環利用は進んでいるものの、資源の輸入量は横ばいのままで、輸出に回るのとは一部分。世界中から毎年大量に資源を輸入し続けてきた日本列島に山積みのごみが残っても不思議ではない状況になっています。

ごみ処理予算

焼却炉建設に少なくとも 100 億円前後。借金で建設し、メンテナンス費用も億単位で必要になります。水分の多い生ごみの減量をはじめ、紙ごみ、古着などの分別を徹底し、大幅な焼却ごみの減量が成功すれば、ごみ処理費用の減額が可能になるとともに、焼却炉の延命ができ、新規建設の先延ばしも可能になります。

ごみ？を家に持ち込まない、贈らない

大勢が楽しくほんの少しごみを減らせば、減量効果は高くなります。冷蔵庫を買い替えるなら今より一回り小さい冷蔵庫を購入。冷蔵庫内は奥の壁面が見える程度にして詰め込みすぎに注意すれば、うっかり食品を無駄にすることは減ります。

野菜くずは最初から濡らさないように三角コーナーは使用せず、紙袋に直接入れるようにしてみましょう。生ごみは、庭の片隅に土に 30 センチ幅程度の溝を掘って直接埋めるのが簡単です。庭のない方は、プランターや素焼きの植木鉢でもたい肥作りが可能です。

高齢化社会でお嫁さんたちを困らせないよう、元気なうちに、家を整理し似通ったものを複数所有していることに気づいたら、必要としている方たちに譲るようにしていきましょう。



一般社団法人 繊維リサイクル協会

<http://tera-jpn.or.jp/index.html>



桜エコ・フェスタ 2016

テーマ「わたしなりのエコを見つける」

2016年11月27日（日）10:00～16:00、さいたま市桜環境センターにおいて、第2回桜エコ・フェスタ 2016が開催されました。

さいたま市を中心に活動する32団体が「ミニ講座」や「活動展示」「体験コーナー」などに参加。環境センターならではの催しでは、パッカー車が通る道や、高温で溶かしたごみが出てくる【出湯】シーンを見たり、リサイクルセンターなどの見学をする「ごみのゆくえ探検隊」等々。

エコ・リサの展示ブースでは、「生ごみを0にするための、私たちの取り組み！」として、ごみを知らう委員会の県内焼却場の使用年数や年間処理量、さいたま市の各焼却場の焼却ごみの割合などのデータを展示し説明しました。また、竹チップを使い、生ごみの消えて無くなる様子を確認してもらうなど、生ごみを燃やすごみにしなければ焼却場も減らすことができると参加者に呼びかけました。

市内在住の方々は熱心にデータを確認して竹チップの様子を興味深く見学していました。

竹チップで生ごみゼロ
準備：酵素入り竹チップ、米のとぎ汁、
専用バケツ（土嚢袋）



左上から、とぎ汁を入れ混ぜる（握って指の跡が付く程度）、生ごみを崩して入れ、お話ししながら、ひたすら混ぜる×混ぜる。

2時間後には見当たらなくなっていました。

報告：宮田尚美



街を遊ぶ！食べる！極める！

www.townnavi.info/saitama

美しい環境を残そう！



～市民団体・産廃企業の先進的な取組みを聞く～

＜日時＞平成29年2月18日（土）

ごみはまだまだど～んと
減らせます。

10時20分～16時30分（受付10時～）

＜会場＞大宮ソニックシティ 市民ホール第1集会室

＜参加費＞資料代 500円（エコ・リサ会員は300円）

＜定員＞90名

基調講演 午前

「自然と地域と共生する環境経営」

石坂産業株式会社 専務取締役 石坂 知子さん

先進的な取組発表 午後

1. 「市民・行政・企業の垣根を超えた取り組み」

環境ネットワークよしかわ 会長 島崎 允行さん

2. 「都市型堆肥化事業の試行錯誤とその歴史」

大村商事株式会社 代表取締役 大村 相哲さん

3. 「環境配慮を考えたごみ処理」食用廃油回収0円～遺品整理まで

有限会社 後藤衛生コンサルタント 顧問 山田胤雄さん

※詳しくは同封のチラシをご覧ください

編集後記：美しい環境を残すことは、今を生きる者の使命ではないでしょうか？エコ・リサ交流集会に集まって、皆で知恵を出し合いましょう！ぜひご参加を！轟 涼

司法書士竹内啓修事務所

お問合せ ☎048-963-6055 不動産・商業登記全般



食品リサイクル買取

検索

蛍光灯リサイクル埼玉

検索

廃棄物買取 ダンボール

検索



産業廃棄物のことなら何でもご相談下さい。

ウム・ヴェルト株式会社 ☎0280-23-2641



ゴトグループ

快適な環境づくりのお手伝い。

村岡営業本部 ☎048-537-0555

ゴトグループ

検索

<http://www.510goto.co.jp>